



同窓会会報

発行

福島成蹊高等学校
同窓会

福島市上浜町5-10

電話 (522) 2049

発行人 石井 都

印刷所 (有)三共印刷所



「バス贈呈」



次世代に向かって

同窓会会長 石井 都

(昭和41年度卒)

会員の皆様には、ますますご健勝の事と、お喜び申し上げます。

昨年二月二十八日、同窓会入会式を行ない今年も三百十二名の新同窓生を迎える事ができました。大きな志を抱き迷う事ないその瞳に、いつの日か会の運営に携わってくれる事を願望しました。

六月二十四日、総会・懇親会を行ないました。役員改選で会に多大なる貢献をして下さった二名の方がお辞めになり新役員三名の内男性二名を迎え十五名で、次世代に繋ぐべき会の運営を心がけなければと役員一同決意致しました。ご参加頂いた皆様に各審議事項を討議して頂き又皆様からの提案事項につきましては今後随時検討してまいりたいと思います。

アトラクションは、ギター部総勢七十名の内有志二十四名による弦の音色に酔いしれました。顧問の吉田先生、指

揮の羽田先生、部員の皆様の更なる活躍を期待しています。懇親会での和気藹々とした一時は、あつと言う間に過ぎてしまいました。恩師の皆様、御出席の皆様ありがとうございました。

皆様もご存知の様に、昨今母校の部活動活躍は目覚ましいものがあります。然しながら現在部活動に使用しているマイクロバスの劣化甚だしく五、六年前から役員会でバス購入寄贈の話がでておりました。度々協議を重ねてこの度学校が希望する中型バスと会の購入予算とが合致しました。そこでバス寄贈を通して母校の更なる発展に寄与したいと今回のバス購入に至りました。一月十一日に贈呈式を行ないその目映いばかりの生徒達の笑顔に母校の大きな未来を描く事ができました。

皆様、今後ともより一層の御指導、御力添えをお願い致します。

平成三十年度 総会・懇親会

酒井 久美子

（平成4年度卒）

卒業してから20年以上経ったこの度、初めて同窓会総会に参加させて頂きました。参加者の方達と話しているうちに、若く輝いていた高校時代に気持ちに戻っていく感覚で、少し若返った気にさえなりました。『母校は成蹊といえる誇り』を胸に、各分野で活躍されている方達との交流は、本当に充実した時間でした。末筆ながら同窓会の益々のご発展をお祈り申し上げます。



遠藤 奈那

（平成29年度卒）

本日はありがとうございます。久しぶりに会った同級生、先生方とたくさんお話をすることができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。まだ大学生活に慣れず、大変なこともあります。また高校に遊びに行きたいと思います。



佐藤 祐希奈

（平成29年度卒）

今回の同窓会総会に参加させて頂いたとき、より一層同窓会会員として貢献していきたいと思いました。

大滝 翔子

（平成29年度卒）

本日はありがとうございます。久しぶりにお世話になった先生方にお会いできて、嬉しかったです。また、時間がある時に、学校などに顔を出しに行きたいと思っていますので、その時はよろしくお願いいたします。

山本 紗瑛

（平成29年度卒）

同窓会会員となり、今回総会に参加させて頂きました。母校の歴史、新しい成蹊の特色を知ることができました。母校のこれからの活躍が楽しみです。



齋藤 龍一

（平成29年度卒）

美味しいご飯を頂きながら高校時代の思い出話をしてとても楽しい時間を過ごさせて頂きました。ぜひこのような会にまた参加させて頂きたいです。



馬目 彩音

（平成29年度卒）

平成29年度卒同窓会会員の一人として、今回の同窓会総会に参加させて頂きました。今後も、同窓会委員の一員として、責任をもって任務を果たしていきたいと思います。

役員退任

ありがとうございます
ございました

幹事長

渡辺 美喜子

（昭和55年度卒）

平成二十六年七月より二期四年間、同窓会の運営に携わって来ました。この四年の間には、はじめて男性の役員が誕生しました。もはや女子高の同窓会ではありません。

これからは、歴史ある成蹊高校同窓会として若返りを図り新たなページを刻んで行ってもらいたいと願いつつ、退任の挨拶とします。





ご挨拶

理事長 高橋 幸七

同窓会・地域の皆様始め関係諸氏ご理解とご協力の下、幾多の変遷を経つつも校訓「桃李不言下自成蹊」は変わることなく、創立百五年の歴史の中に卒業生二万七千余名を世に輩出することが出来ました。

前年度、新たな「教育理念」・「教育目標」を掲げるとともに、一部コース立ても変更し、時代・地域、更には世界のニーズに応え得る教育



戊辰から百五十年目

校長 本田 哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から御礼を申し上げます。

今年は戊辰戦争から百五十年目に当たり、平成最後の年に成りました。本校の歴史を重ねて見ると、戊辰から四十五年目に設立された事になります。また、九十年に及んだ女子教育から男女共学に移った節目が百三十五年目に、新たな中高一貫教育は百四十年

を常に追求して参る所存です。本年度、本学教育活動に供すべく、貴会より「中型バス一台」のご寄贈を賜りました。常日頃からの物心両面にわたるご支援に対し、深甚なる感謝を申し上げます。

引き続き、品格高き「次なる桃李の人」の育成に向け、役員・職員一同さらに勇往邁進することをお約束申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

目に始まりました。新しい元号は不明ですが、開学時の女学生は明治生まれでした。それから、大正・昭和を経て平成生まれが現在ですが、いずれ十三年先には新元号の生徒が入って来ます。元号は世代であり、学校の年輪です。輪の広がり、更なる事を祈念し、今後も尽力して参りますので宜しくお願い申し上げます。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

1. 収入金額 2,782,860 2. 支出金額 1,536,135 3. 差引金額 1,246,725

(単位: 円)

収入の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	適 用
会 費	1,256,000	1,248,000	△8,000	4,000×312人
運営協力費	82,090	82,090	0	28年度協力費より
預 金 利 子	500	14	△486	普通預金・定期預金利子
雑 収 入	200,000	233,300	33,300	総会会費等・名簿売上等
繰 越 金	1,219,456	1,219,456	0	前年度より繰入
合 計	2,758,046	2,782,860	24,814	

支出の部

項 目	本年度予算額	本年度決算額	増 減	適 用
事 業 費	800,000	413,544	△386,456	総会、研修会、桃李祭
会 議 費	100,000	24,026	△75,974	役員会、幹事会
会報発行費	200,000	155,736	△44,264	会報第24号
協 力 費	300,000	283,872	△16,128	全国大会祝金、卒業記念品等
交 誼 費	50,000	33,771	△16,229	慶弔費
通 信 費	400,000	212,125	△187,875	切手、名簿補助等
旅 費	0	0	0	
事 務 費	200,000	113,061	△86,939	印刷費、事務用品等
特別積立費	300,000	300,000	0	
予 備 費	408,046	0	△408,046	
合 計	2,758,046	1,536,135	△1,221,911	

特別積立金 (平成30年3月31日現在)

7,743,856円

運営協力費 (平成30年3月31日現在)

118,010円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます
平成30年4月14日 会計監査 関根 綾子 渡邊八千代

会 務 報 告

平成29年

4月7日	入学式出席
8日	定例役員会 会報第23号発送
5月1日	会計監査
13日	定例役員会
6月3日	墓参(初代・4代校長) 定例役員会
25日	同窓会総会開催(母校 吹奏楽部演奏)
7月1日	定例役員会
9月2日	定例役員会
10日	桃李祭
10月7日	定例役員会
11月4日	定例役員会
12月2日	定例役員会

平成30年

1月13日	定例役員会
31日	新幹事顔合わせ
2月10日	定例役員会
28日	同窓会入会式
3月1日	卒業式出席 会報第24号発行



名譽会長	顧問	副会長	会計監査	幹事	常任幹事	事務局長
渋谷スズイ (昭和30年度卒)	丹野リン (昭和21年度卒)	益田幸子 (昭和22年度卒)	上野治代 (昭和22年度卒)	浅野ヨシ (昭和23年度卒)	須田カヨ子 (昭和23年度卒)	小林征子 (昭和23年度卒)
	上野幸子 (昭和22年度卒)	浅野ヨシ (昭和23年度卒)	須田カヨ子 (昭和23年度卒)	小林征子 (昭和23年度卒)	斎藤綾子 (昭和23年度卒)	矢吹はる香 (昭和23年度卒)
	斎藤綾子 (昭和23年度卒)	矢吹はる香 (昭和23年度卒)	佐藤文子 (昭和23年度卒)	本藤文子 (昭和23年度卒)	千原良彦 (平成21年度卒)	瓶井恵子 (平成24年度卒)
	本藤文子 (昭和23年度卒)	千原良彦 (平成21年度卒)	瓶井恵子 (平成24年度卒)	渡邊あすか (平成24年度卒)	穴澤祐人 (平成24年度卒)	唯木祐人 (平成24年度卒)
	穴澤祐人 (平成24年度卒)	唯木祐人 (平成24年度卒)	末永誠徳 (平成24年度卒)			

新 役 員

● 水引工房 夢

南 喜代子

(昭和39年度卒)

お祝いの縁起物として欠かせない日本伝統の「水引」で作成した置物や小物を販売する工房を平成16年12月にオープンしました。

開店のきっかけは、一人娘の結婚でした。部屋いっぱいに広げられた結納品の上に乗せられた、水引で作られた立体的な鶴や亀、梅や松などに魅せられて、自分でも作ってみたいくなり本を参考に作品を完成させました。

郡山市でも月2回教室を開催しております。福島市の工房でも、都度開催しておりますので、ぜひ一度お立ち寄り下さい。1回2時間程度で千円です。(材料費は別)



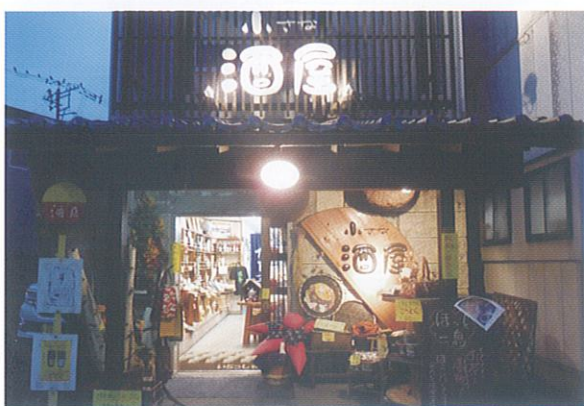
● 小さな酒屋きしなみ酒店

岸波 加代子

(昭和53年度卒)

酒屋を任されて31年、現在の店舗にしたのは12年前です。気軽に「ご来店頂ける酒屋を目指し、酒類の他に珍しい食品、ハンドメイド作品などちよつとしたギャラリイ風な酒屋です。日本全国で当店のみ販売酒や四季を通じて楽しめる日本酒を中心にご案内しております。お酒の試飲ですがお茶とお漬物の試食でほっこりしていただけたらと。

来て、見て、楽しめる小さな酒屋へ気軽に「ご来店ください。最後に、昔の昭和の校舎を懐かしく思う平成最後の年です。



● Hairmake tase

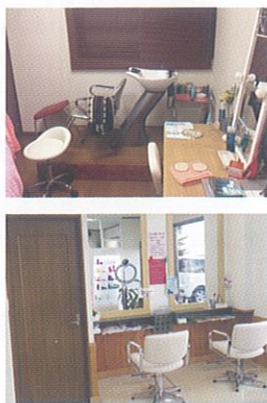
田畠 由美

(平成2年度卒)

西道路トイザらス向かいにある「Hairmake tase」。一階は美容室、二階はエステルーム・着付室があり、トータルで美しくなる店づくりをしています。

私はメイクの仕事がしたくてこの業界に入り、結婚式場でのブライダル仕事をを経て、現在は美容師、エステティシャンとして「桃李無言下自成蹊」という言葉を胸に、そんな美容室にしたいと日々頑張っています。

人への感謝の気持ちを忘れず、みなさまに愛されるお店を目指して参ります。



● 趣味のきものとみ田

富田 美由岐

(平成4年度卒)

私は進学クラスの一期生として入学致しました。当時は生徒会活動に参加し、とても有意義な高校生活を過ごす事ができ、担任の先生をはじめたくさんの方々に大変お世話になりました。

現在は、結婚を機に主人の事業である呉服店を手伝う事となりました。小さな店ではありますが、老舗の呉服店として地域に根ざして営業しております。これからも皆様から信頼される店作りをしていきたいと思っております。お近くにいらした際には、ぜひお立ち寄り下さいませ。



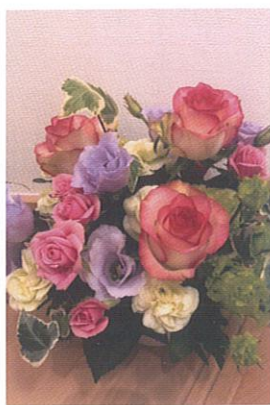
● フラワーサイノ

千田 亜友美 (平成13年度卒)

私は高校卒業後、実家の花屋を継ぐ為に東京の専門学校で勉強し、七年間東京の花屋に勤め、現在は、実家で花屋をしています。

花束・アレンジメントをはじめブライダル花、お供え花などご用途に応じたフラワーギフトを心を込めてお作りします。今、流行りのハーバリウム・プリザーブドフラワーも作っております。

これからもお客さまに愛されるような店でありたいと思います。



● くすのき接骨院

楠 裕子 (平成14年度卒)

私の在学当時から、兄が開業してありました「くすのき接骨院」で、現在私も柔道整復師として働いております。

校舎すぐ近くの豊田町にありますので、多くの成蹊高校在校生の皆さんに来院して頂いております。

部活で頑張る皆さんのケアを出来る事を誇らしく思います。また、皆さんの一生懸命さに刺激と活力をもらっています。今後も一層知識を深め勉強していきたいと思っています。



● 三共印刷所

羽田 朋子 (平成14年度卒)

私は、実家の印刷所で、印刷された物をお客様へ納品する形に加工する製本という仕事をしています。

当社では、伝票物から封筒やラベルシール、ポイントカード、名刺、会報、冊子など多種多様な製品を作っています。

小さな会社ならではの些細な要望にも応えられる身近な存在でありたいと思っています。

最近では、Tシャツプリントやレーザーカット製品なども扱い始めたので、気軽にご相談ください。



● 水引工房 夢

住：福島県福島市早稲町3-17 電：024-522-9515 営：10:30~18:00 休：土・日曜日・祝日

● 小さな酒屋きしなみ酒店

住：福島県福島市天神町1-24 電：024-534-3940 営：9:00~19:30 (日10:00~18:00・祝9:00~19:00) 休：1月1~2日

● Hairmake tase

住：福島県福島市森合蒲原18-49 電：024-555-0553 営：10:00~19:00 (土日祝 9:30~18:00) 休：火曜日

● 趣味のきもの とみ田

住：福島県福島市大町9-12 電：024-522-5298 営：10:00~18:00 休：日曜日

● フラワーサイノ

住：福島県伊達郡桑折町字上町57 電：024-524-1187 営：8:30~18:00 休：元日

● くすのき接骨院

住：福島県福島市豊田町3-13-1 電：024-521-8185 営：9:00~21:00 (土 9:00~12:00) 休：日曜日

● 三共印刷所

住：福島県福島市松木町1-30 電：024-525-4220 営：8:30~17:00 休：土 (第2・4)・日曜日・祝日

平成三十年度進路状況

進路指導部部長 長南 仁吾

平成三十年度の進路状況は下記の通りです。国公立大学においては、福島大にAO入試で1名、推薦入試で1名、計2名が現在合格しています。公立はこだて未来大に1名、会津大に1名、都留文科大に1名合格しています。私立大学では、法政大、成蹊大、東北学院大などに普通コースから合格しています。神奈川大や白鷗大、国際医療福祉大にも多くの合格者がでています。今後は一般受験で一貫・特進コースともに多くの生徒の合格が見込まれます。三月上旬には国公立大学の前期試験合格発表が行われます。短期大学や専門学校でも多くの合格者が出ています。就職面では地道な学習のおかげで、今年度も就職を希望する生徒はすべて内定となりました。今後は就職希望生徒の内定率100%を目標に支援してまいります。このような先輩諸君の活躍は後輩諸君にとって大きな励みになっています。

今後も一般入試が続きますが全員が合格を手中に収められますよう、教職員一同邁進していきます。

平成30年度 進路状況

平成31年2月18日現在（一部の学校のみ記載）

国公立大	10名	東北大、福島大、千葉大、新潟大、公立はこだて未来大、県立医科大(医)、会津大、都留文科大
文部科学省管轄外の大学校等	21名	東北職能大学校、防衛医科大学校、防衛大学校
私立大	355名	仙台大、東北学院大、東北福祉大、東北医薬大、宮城学院女子大、医療創成大、福島学院大、国際医療福祉大、自治医大、白鷗大、獨協大、神田外大、千葉工大、青山学院大、亜細亜大、北里大、国学院大、国際基督教大、上智大、成蹊大、専修大、玉川大、中央大、東京女子大、東京理大、東洋大、日本大、法政大、星薬大、明治大、明治薬大、明星大、神奈川大 ほか
短期大学	21名	山形県立米沢女子短期大、会津大短期大学部、仙台青葉学院短大、郡山女子大短期大学部、桜の聖母短期大、福島学院大短期大学部、埼玉女子短大
専門学校	67名	福島県立総合衛生学院、太田看護専門学校、大原看護専門学校、福島看護専門学校、ボラリス保健看護学院、北里大学保健衛生専門学院、日本外国語専門学校、日本工学院八王子専門学校、東京ヘルエボック美容専門学校、福島医療専門学校 ほか
就職内定者	8名	(株)タダキシール工業、(株)東友東亜技術コンサルタント、福井工業、(株)リバシー、(株)サカイ引越センター、自衛官候補生、一般曹候補生、福島市消防初等

平成29年度 合格状況

（一部の学校のみ記載）

国公立大	45名	東北大、東京農工大、新潟大、茨城大、弘前大、秋田大、山形大、福島大 ほか
文部科学省管轄外の大学校等	2名	防衛医科大学校、防衛大学校
私立大	350名	慶應義塾大、早稲田大、上智大、明治大、法政大、学習院大、中央大、同志社大、立命館大、成蹊大、成城大、東京女子大、東洋大、駒澤大、専修大、近畿大、國學院大、女子栄養大、清泉女子大、東邦大、北里大、玉川大、東京農業大、芝浦工業大、大東文化大、東海大、亜細亜大、帝京大、武蔵野大、東洋英和女学院大、東京未来大、東京情報大、東京国際大 ほか
短期大学	21名	桜の聖母短期大、福島学院大短期大学部、郡山女子大短期大学部、上智大学短期大学部 ほか
専門学校	51名	国際医療看護福祉大学校、太田看護専門学校、大原看護専門学校、福島看護専門学校、神田外国語学院、国際マルチビジネス専門学校、東北文化学園専門学校、東北歯科専門学校 ほか
就職内定者	13名	福島県警察事務、福島県警察官、自衛官一般曹候補生、自衛官候補生、海上自衛官一般曹候補生、海上自衛官、JAふくしま未来農協 ほか

福島大学

共生システム理工学類

齋藤 龍一

（平成29年度卒）



大学では興味のある分野をより深く勉強し、サークル活動やアルバイトも思いきり楽しんでいきます。充実した今があるのも、高校時代の自分がいたからだと思っています。これから何があってもあの頃に培った忍耐力と根性で乗り切って行けると確信できます。今になって先生方の一生懸命な気持ちばかり、感謝がこみ上げます。ありがとうございました。

つくば国際大学

医療保健学部 理学療法学科

赤坂 七海

（平成29年度卒）



私は今、勉強やサークル活動など充実した学校生活を送っています。

私は大学生から一人暮らしを始めて、時間の使い方や自己管理について改めて考えるようになりました。一年生の多くは基礎についてを学びます。勉強で困った時は先生はもちろんですが友人と教え合いながら取り組んでいます。

自分には無い考えを聞くことが出来とてもいい刺激になっています。病院見学や実習もあるのでこれから頑張っていきたいです。

キャンパスライフ

クラブ紹介

特別活動部部长 鈴木 祥之

近年、本校のクラブ活動の躍進には目を見張るものがあります。運動系クラブにおいては水泳クラブ・陸上競技クラブが東海インターハイに出場し、新人大会でも好成績を収め（水泳クラブは東北大会総合優勝）、全体の牽引役となっています。硬式野球クラブも、夏の全国高等学校野球選手権福島県大会においてシード校を破り2年連続ベスト16入りを果たしています。硬式テニスクラブは男女ともに県ベスト4、バドミントンクラブは新人体育大会で東北大会に出場しており、その他のクラブも例年になく好成績を残しています。文化系クラブでは、ギタークラブが全日本ギターコンクールで銀賞を受賞し、第37回福島県高等学校総合文化祭・活動優秀校公演でも演奏することになっています。芸術・研究・ボランティアの各クラブも活発な活動を続けており、全体的なレベルアップが見られます。

ESS部

顧問 小野 広昭

英語で映画を観たり、英語でロールプレイをしたり、英語のゲームを楽しんだり、季節毎の欧米圏の行事をパーティ形式で味わったりします。それらの活動を通して、チャド先生と英語でコミュニケーションを図ることによって、実践的な英語が徐々に身に付いていきます。

また、英検の前には、リスニングや面接対策なども行っています。最近では2級合格者も出るようになってきました。

自分の英語がネイティブに通じるのか試してみたいという生徒に是非お勧めします。



放送部

顧問 野崎 貴嗣

私達放送局の主な活動は、お昼の校内放送と学校行事の音響操作を担当しています。校内放送や、始業式などの厳格な行事から、桃李祭などの学校全体が盛り上がるような行事まで、すべての行事の音響操作を担当しています。校外では、高校の放送大会に参加し、アナウンスに挑戦したり、日々の活動を向上させるための研究発表を行ったりしています。これからも聞き手に聞き取りやすい放送や、学校行事をサポートできる放送になるように精進していきます。



吹奏楽部

顧問 摺出寺 祥江

吹奏楽クラブは、聴く人の「心に響く音」を目指し活動しています。毎日の練習では、それぞれが課題意識を持ち、基礎力や全体のサウンド向上を図るべく努力しています。今年の吹奏楽コンクールでは、大編成の部で出場し県大会「銀賞」を受賞することが出来ました。また、定期演奏会やふれあいコンサートなど多くの演奏経験を通して、部員たちは音楽的な成長だけでなく人間的にも成長しています。今後も「音楽を楽しむ」気持ちを忘れずに、さらに華やかなSEIKEIサウンドを追求していきたいと思っています。



生徒会紹介

特別活動部部长 鈴木 祥之

第106期生徒会は「楽しいのその先へ」をスローガンに様々な試みを実施してきました。7月の球技大会では新たな競技種目を導入し、9月の合唱祭では最後に「サライ」の全体合唱を行い、また両行事の連続性を強調するために、全クラスを紅白に分け、チームで勝利を競う試みも行いました。近年、生徒主体で諸行事や日常の生徒会活動を企画・運営する雰囲気が高まっています。こうした潮流や熱意を第107期も受け継ぎ、多くの生徒が「夢・希望・願い」を実現する際の一助となるよう活動していきます。





校歌

作詞 坂内 萬
作曲 古閑 裕而

わが学び舎の
名もゆかし
桃李の花の
匂へれば
ものいはねども
慕ひくる
かげやこみちと
なりぬべき
金剛石の
みさとしに
阿武隈川の
よどみなく
進みゆく世に
遅れじと
いそしむ技の
楽しさよ



新幹事

一組 二組 三組 四組 五組 六組 七組 八組 九組 十組

松本 尚輝 渡辺 亮 橋本 弘 萩野 史 大内 優 阿部 紀 阿部 友 菊地 彦 遠藤 晃 佐藤 義 安部 大 川部 音 佐藤 雄 菅野 未 人見 亜 松田 優 飯塚 廉 渡辺 馬 鬼島 咲 田島 美 蘭

2019年度総会のお知らせ

- 日 時 / 2019年6月23日(日)
午前10時30分～
- 場 所 / ホテル福島グリーンパレス
- 内 容 / 総会 懇親会
- 会 費 / 4,000円
- 問合わせ先 / 福島成蹊高等学校 同窓会事務局
TEL 024-522-2049



～ この場を利用してミニクラス会等を開いてみませんか? ～

同窓生の活躍

持地 佑季子

(平成8年度卒)

私は現在、脚本家兼小説家として東京で暮らしています。今思えば、成蹊高校在学中の時から将来の夢は脚本家になりたいという事でした。卒業してから色々な職業に就きましたが、フジテレビのヤングシナリオ大賞という脚本の賞を頂いた事で、私の脚本家人生は始まりました。現在は脚本と小説の本



両方を頑張ろうと奮闘中です。高校生というものは、夢や希望に満ちている時代だと思っています。その頃に出会えた仲間や先生たちに、日々感謝し、精進していきたいと思っています。

事務局だより

会報25号は昭和52・

62・平成20・21年度卒業の皆様に送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。

皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使用させていただきます。引き続きご協力お願いいたします。

また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として二千円を補助いたします。

退職される先生方

教諭 安藤 信子
教諭 清水 勇樹
教諭 倉田 光太郎

編集後記

前回第24号会報で「同窓生のお店紹介」を特集いたしました。今回は、第2弾として飲食店以外のお店を紹介しました。

多方面で多くの同窓生が、活躍しています。御存じの方がいらしたらお知らせ願います。又、皆様のご意見・ご要望をお寄せ頂ければ幸いです。